



ロンドン五輪ホッケー女子代表村上藍選手市役所訪問

平成24年7月6日にロンドン五輪女子ホッケー日本代表に選ばれた村上藍選手(左から2人目)が小矢部市役所を訪問されました。「ドラッグシュートを一本でも多く決め、メダル獲得に向けて頑張りたい。」と抱負を述べられました。

4月臨時会の概要

4月25日の1日間を会期として開催しました。財産の取得の議案1件が上程され、原案のとおり可決されました。

また、専決処分事項2件を承認しました。

6月定例会の概要

6月8日から22日までの15日間を会期として開催しました。初日は、平成24年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)など議案4件が上程され、最終日に原案のとおり可決しました。

また、財団法人クロスランドおやべの経営状況など、関係法令等の規定に基づく5件の報告、行財政改革特別委員会からの報告、同意1件、議員派遣の可決を行いました。

目次

概要	①
審議経過	②
可決議案・報告事項	
同意案件	
代表・一般質問	③～⑦
議会からのお知らせ	
委員会報告	⑧～⑨
議長交際費	
陳情の処理状況	
9月定例会の日程	
会務報告	⑩
編集後記	

4月定例会の
審議経過

25日 本会議（提案理由説明・
質疑・討論・表決

質疑・討論・表決

6月定例会の
審議経過

8日 本会議（提案理由説明）
全員協議会

全員協議会

11日 議案調査日

12日 議案調査日

13日 議案調査日

14日 議会運営委員会

18日 本会議（代表・一般質問）

行財政改革特別委員会

民生文教常任委員会

19日 まちづくり特別委員会

産業建設常任委員会

20日 総務常任委員会

21日 委員長会議

22日 議会運営委員会

全員協議会

本会議（質疑・討論・表決他）

4月臨時会で可決された議案

（補正予算）

議案第23号 財産の取得について（石動駅南駐車場用地）

（専決承認）

承認第3号 専決処分事項の承認について

専決第3号 小矢部市税条例の一部改正の専決処分事項の承認について

承認第4号 専決処分事項の承認について

専決第4号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正の専決処分事項の承認について

6月定例会で可決された議案

（補正予算）

議案第24号 平成24年度小矢部市一般会計補正予算（第1号）

（条例の一部改正）

議案第25号 小矢部市営バスの設置及び管理に関する条例の一部改正について

議案第26号 小矢部市印鑑条例等の一部改正について

（その他）

議案第27号 富山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

（追加議案・その他）

同意第1号 小矢部市名誉市民の推挙について

6月定例会で報告された事項

（経営状況等報告）

報告第1号 平成23年度小矢部市継続費繰越計算書の報告について

報告第2号 平成23年度小矢部市繰越明許費繰越計算書の報告について

報告第3号 小矢部市土地開発公社の経営状況報告について

報告第4号 公益財団法人小矢部市体育協会の経営状況報告について

報告第5号 財団法人クロスランドおやべの経営状況報告について

同意案件

◎小矢部市名誉市民の推挙



大谷 勇氏
（兵庫県西宮市）

故大谷竹次郎氏の子として小矢部市を愛し、多年にわたり、物心両面から小矢部市の社会文化の興隆や公共の福祉の増進に寄与されたことから、小矢部市制施行50周年記念式典において、名誉市民の称号が贈呈されます。



代 表 質 問

創生会 白井 中 議員

◎市制50周年記念事業について

【問】記念事業を市民総出で盛り上げ、お祝いする気持ちが必要であり、市民への周知の徹底を図らねばならないと思うがどうか。

【答】8月1日に、多くの市民の皆様方のご臨席を賜り、記念式典を開催するほか、記念事業として、三大祭り合同イベント、第九の合唱、市民オリンピックなど、市民総参加を目指し開催する予定にしている。多くの市民の方々にご参加いただけるように、一層の周知に努めたい。

【問】過去10年をどのように総括し、そして今後の10年に向けて本市の発展のためにどのように考えているのか見解を伺いたい。

【答】過去10年間は、景気の低迷、人口減少、少子高齢化の進行などにより社会情勢が大きく変化した時代であり、対応すべく行財政改革や定住促進に取り組んできた。今後の10年間は人口対策を市政最重要課題として引き続き強力に推進していく。さらには、石動駅を中心とした南北市街地の連携も大変重要であり、自由通路や駅南駐車場の整備など、相対的に推進していく。

◎滞納税の徴収体制について

【問】市税の滞納額は3億円を超えている。納税意識の輪を大きく全市民へと拡大していく努力が必要だ。本市の徴収体制と今後の徴収計画並びに将来的展望について伺う。

【答】平成24年4月から税務課内に滞納徴収班を新たに設置し、滞納発生から法的処理に至るまでの管理を行い、早期の滞納整理を実施する。また、市職員を国や県が開催する研修会へ積極的に参加させ、差押え不動産等の公売も視野に入れた専門的知識を有する人材育成に取り組んでいく。さらに、市租税教育推進協議会や市納税貯蓄組合連合会等の活動を通して、納税意識の啓発を図っていく。

【問】砺波・南砺・小矢部市の3市で滞納整理機構の立ち上げを検討してはどうか。最終的には県内15市町村が参加しての滞納整理組合の設立と積極的な活動が滞納処分に効果があるのではないかと。

【答】県を中心とした15市町村による一部事務組合方式の滞納整理組合は、収納率向上には有効であり、これは県に対して要望していきたい。

◎防災・減災について

【問】本市は、東日本大震災以降に

「小矢部市地域防災計画」の見直しを行っている。県の防災会議が5月29日に開催され、東日本大震災を契機に見直した県地域防災計画の地震・津波災害編を了承した。一刻も早く市防災計画の見直しと改訂をすべきだと考えるがどうか。

【答】地域防災計画の見直しをするため、平成24年度予算に改定業務費を計上している。今後、震災や原子力対策など改訂作業を進めるとともに、国・県の災害対策の決定を踏まえた計画全般の改訂を行っていく。

【問】当市では災害応援協定を、現在7自治体と9民間業者と締結をしているが、協定内容の充実・拡充を検討してはどうか。

【答】民間企業との災害協定は、物資の安定供給や避難所も含めた小売関係業種との協定締結が必要と考えている。また、業務の委託方法に関しても、有効性について十分検討したい。

◎行政的特徴のある市をめざして

【問】定住促進事業や大河ドラマ誘致など、いろいろな施策を打ち出しているが、他の自治体で実施済みものをうまく取り入れたものか。当市の行政的に特徴のある取り組みはあるのか伺う。

【答】他の自治体で成果のあった施策を参考に組み合わせることは有意義と考えており、今後とも先進的な事例で効果が高い施策は導入を図る。ただ、新たな施策を生み出すことは一朝一夕には難しいことから、他自治体の取り組みからヒントを得て、本市独自の特徴的な施策として昇華させることは常に意識をすべきと考えており、今後とも幅広い情報収集、制度要望を展開したい。

【問】市民からの相談に即座に対応できる「行政ホットライン」の創設等を図り、市民の要望に対して真摯に答える必要があるのではないかと。

【答】気軽に相談できることは、信頼感と安心感を提供できることで意義がある。「市長への手紙」「トークの日」、「タウンミーティング」の実施とともに、行政相談委員制度の活用も含め検討したい。

【問】平成26年度からスタートする第6次総合計画の後期計画の策定に向けて、今後の行政的な特徴のある取り組みの基本的な考え方を伺う。

【答】本市が抱える課題に応じた施策と独自の地域資源を活用する施策ということを基本に、今後整理していきたい。

代 表 質 問

新風会 福島 正力 議員

◎生産面からの食料安定供給について

【問】米粉用米と飼料用米、ホールクロップサイレージ用稲の生産拡大について伺う。

【答】新規需要米は、主食用米への横流れ防止措置が厳格に講じられており、需要者との契約があつて初めて生産できるものであり、一概に生産拡大とはいかない。ただ、飼料用米は、本市は県内の約8割の鶏を飼育している鶏卵の産地である特性等も勘案し、生産拡大につながるよう支援していく。

【問】地産地消や米消費拡大の取り組みへの活用のため、米粉からパンを作るホームベーカリーパンの購入補助を考えているか伺う。

【答】全国的には実施している自治体もあるが、今しばらく時間をいただき、実績調査、機器の性能等の研究を進めさせていただきたい。
【問】ハト麦の栽培面積を拡大し、小矢部産ハト麦を使用した健康食品などの開発をしてもよいのではないか。

【答】ハト麦を地域振興作物と位置づけ、国・県の助成措置と併せ、平成23年度からは市単独事業とし

て、2万円/10aを助成し、生産拡大を積極的に支援している。小矢部産ハト麦を使用した健康食品の開発が関西圏の食品会社で取り組まれており、引き続き支援したい。

【問】農業者の担い手確保対策について伺う。

【答】平成24年10月を目処に「人・農地プラン」の策定を計画しており、その過程で、集落・地域の皆さんが、農業のあり方や担い手不足をしっかりと議論していただきたい。また、国の助成措置を活用することで、担い手の確保につなげたい。

◎新幹線開業に伴う観光誘客について

【問】国道8号は4車線化に向けて用地を取得されていることから、国へ4車線化を要望してはどうか。

【答】沿線住民の利便性の向上、土地の有効利用、渋滞緩和、物流の活性化など、大いに効果が期待できることから、今年度から国・県へ要望していく。

【問】能越自動車道は小矢部砺波JCTから高岡IC間が有料区間だが、県に通行料無料化を要望してはどうか伺う。

【答】本市では、料金の引き下げに

より、県西部地域や能登地域への観光と物流の活性化につなげたいと、市議会とともに要望してきた。今後も引き下げを要望していく。

【問】先ごろ開業した東京スカイツリーが人気でクロスランドのタワーの搭乗者も増えているが、クロスランドおやべのバリアフリー化が進んでいない。施設の改善を図り、誘客増を図るべきでないか伺う。

【答】施設の段差は、一定程度の対応がされていると考えている。しかし、クロスランドセンター内のエレベーターは設置されていないため、第6次総合計画後期実施計画の中で検討したい。

【問】道の駅の駐車場は、混雑時に駐車に苦慮すると、たびたび聞いている。施設の再検討を図り、誘客に努めるべきでないか。

【答】休日などには一時的に駐車場が混雑する時間帯もあるが、現在の台数は妥当なものと考えている。
【問】小矢部インター出口の観光地の案内看板は、目的地への字が小さく、鮮明さに欠けているので、改善してはどうか。

【答】平成24年度には、わかりやすく、外国人観光客にも対応した看板に改修したい。

◎並行在来線の新駅設置について

【問】並行在来線の石動福岡間の新駅設置について、新風会の重点要望、地元の新駅設置推進協議会をはじめ、小矢部市自治会連合会が、県・市に要望書を提出し、誘致活動を実施してきた。現時点での、新駅設置要望に対する見解を伺う。

【答】新駅設置については、平成24年5月24日に開催された富山県並行在来線対策協議会において、新駅設置可能性調査の結果概要が示された。石動福岡間は7つの新駅設置検討箇所の中で乗車見込み人員が最も少ない箇所と報告された。また、地域のまちづくりの観点から、駅前広場や駐車場・駐輪場等の整備のほか、地域公共交通総合連携計画の策定が必要であり、駅舎不要の簡易な駅の設置は、現時点では大変困難である。

ただし、当該地域において乗車見込み人員が増えるプラスの要因があれば、これは当然新駅設置の必要性が検討されるものと考えている。



一 般 質 問

◎ 質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】通学路の点検・整備及び安全確保はどうか。また、調査結果をどのように周知していくのか伺う。

【答】小矢部警察署の呼びかけで、5月に3カ所の通学路の緊急点検が実施された。また、市教育委員会でも、国・県からの通学路の緊急点検の通知に基づき、6月初旬に実施した。調査結果は、PTA、交通安全協会、自治会等へ周知したい。

【問】県広域消防防災センター「四季防災館」を視察したが、あらゆる災害の体験や疑似体験もできるような整備されているので、たくさんの方に行っていたきたい。ただ、遠方にあるため、市として支援してほしい。

【答】市民の防火・防災意識の向上そして啓発という観点から、有意義である。視察希望団体と協議をさせていただき、必要があれば補助制度の整備を図りたい。

【問】防災士の研修をぜひとも本市で開催してほしいが、その計画はあるのか。

【答】県によると、防災士の資格講習に50人が参加いただければ、本

市での開催も可能である。ただ、参加者の確保は難しい面もあるので、県が開催する研修会への参加を要望していく。

【問】生活保護の実態、並びに調査はどのようにされているのか。また、民生委員の方はどのように関わっているのか伺う。

【答】平成24年6月1日現在、55世帯66人が受給されている。保護申請時に自宅等を訪問調査の上、扶養親族の確認や金融機関等への資産調査などを実施し、保護の可否を決定する。民生委員には、ひとり暮らしや生活困窮者の方に直接相談に乗っていただいている。高齢になって仕事が出来ない、勤め先がなくなった、病気による長期入院などが主な理由である。

【問】平成24年4月からの介護保険制度と報酬改定は、利用者ニーズにどのような対応をしているのか。

【答】利用者やサービス事業者からは、際立った苦情等は聞いていないので、支障なく推進されていると考えている。利用者の要望は、今後もケアマネージャー等を通じて随時把握し、対応したい。

*その他、次の質問がありました。
「市制50周年式典」について

◎ 質問者 藤本 雅明 議員

【問】小矢部市では平成21年まで国際交流員が就学前の子どもたちや小中学校で、外国人とのふれあいや英語活動をしていたが、廃止後の状況はどうなっているのか。又、平成23年度から新学習指導要領が改定され、外国語活動は小学校5、6年生は必修となった。三田市では小学校1年から英語に親しむモデルプランで教育しているが小矢部市でも取り入れたらどうか。

【答】現在は市内の一部の保育所及び幼稚園が独自で行っている。又、小学校では、外国語が必修となる以前の平成13年度から、外国語指導助手が担任とともに授業を週に数回程度行っている。今後は小学校1年から6年間の英語教育のモデルプランを検討したい。

【問】小矢部市もホームページが発信する情報を市民がリアルタイムに受け取ることで、市民が質問を投稿すれば市は直接回答できる。特に災害時には有効なツールである。行政に関心を持ってもらえる仕組みフェイスブックを是非取り入れてはどうか。

【答】フェイスブックのようなソーシャルネットワークワーキングサービスは、非常に流行の移り変わりが激しい業界であり、現時点では、ホームページが一番利用しやすいと考えている。今後、課題を整理して、補助的なものとして、開設を検討していきたい。(7月6日より開設)

【問】住民が主体となって支え合い、助け合っている社会づくりを目指して、住民同士の社会福祉のシステムづくりを支援するのが行政の役割だ。地域支え合いマップづくりを進めてはどうか。

【答】自治会単位、ご近所単位で住民自ら作成して高齢者を支援するマップは、地域の要援護者を支える地域の仕組み作りに貢献すると考えている。先進的な取り組みを参考に今後研究したい。

【問】小矢部市の宝である美しい景観、豊かな自然、人、物、事を生かした、体験型修学旅行を誘致してはどうか。

【答】情報発信や交流人口の増加、ひいては定住人口にもつながる取り組みとして、今後研究すべき施策であると考えている。



一 般 質 問

◎ 質問者 島田 一朗 議員

【問】平成24年度予算において、小水力発電の調査費として35万円計上されているが、今の進捗状況を伺う。小水力発電は水利の豊富な本市に格好の生かす場でないか。装置が小さく、設置にかかる時間が短いということは、何かの災害が起きたとき別の場所へも移動が可能と考えるがどうか。

【答】小水力発電可能性調査については、現在、委託業者の選定作業を進めているところである。小水力発電をはじめとする自然エネルギーの活用は、地球温暖化ガスの抑制と、先の震災に伴う電力不足の懸念から、その必要性は十分に認識しているところだ。しかしながら、小水力発電は発電量と初期投資費用や維持管理費などの経済性の問題、売電や公共施設などでの電力利用等の活用方法の問題、及び水利権等の権利問題、これらが検討課題として想定されるところであり、本格的な小水力発電施設の導入は、調査結果を基にその可否を含めて検討したい。

【問】生活飲料水源である子撫川ダムの放射能セシウム含有量はどのくらいなのか伺う。

【答】水道水の放射能汚染の状況は、県の企業局で調査している。平成23年7月5日に、子撫川浄水場の水道水について、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137の測定が行われている。その結果はいずれも不検出である。また、和田川浄水場では、平成23年3月18日から12月27日まで毎日測定され、その測定結果はすべて不検出であった。平成24年1月からは1ヶ月に1回、測定が継続されているが、その結果も不検出である。このほかにも50項目の水質検査が行われており、その結果は放射能物質の測定結果とともに、県のホームページ上にも公表されている。これらの測定結果を踏まえ、本市が受水している西部水道用水供給事業からの水道水は、安全性が確保されていると判断している。



*子撫川ダム

◎ 質問者 砂田 喜昭 議員

【問】民主・自民・公明三党の増税談合は民意に反し、これを国会に押しつけるのは許せない。消費税増税で価格に転嫁できない事業者の廃業が相次ぎ、市の空き店舗対策も水の泡と消えるがどうか。

【答】社会保障の先送りで、消費税だけが先行という感じがする。国会で十分議論して欲しい。

【問】国は全く見通しもないのに原発の再稼働をやるうとしていない。原発に頼らないでこの夏を乗り切り、そして、原発ゼロを決断して再生可能エネルギーに切り替えることに本腰を入れて取り組むべきと思うがどうか。

【答】将来的には原発に頼らない電力供給へとシフトしていくべきだが、当面は経済活動への影響が懸念されることから、原子力発電に頼らざるを得ないと思う。再稼働は立地自治体の意見を最優先すべきで、それを踏まえて総理はご判断されたものと思っている。

【問】志賀原発の再稼働に当たっては住民への説明責任を果たすことが条件で、住民説明会の開催を北陸電力に要望することだが、その後の対応はどうか。

【答】運転再開については、住民が納得し、安全と確信されることが重要であり、今後北陸電力において明確にされることと思っている。

【問】発達障害児の相談・支援体制だが、保護者が気軽に相談でき、同じ悩みを抱えている者同士が交流できる仕組みが必要でないか。

【答】行政視察された丸亀市の話を聞くと、保護者同士の横のつながりがあり、その場に専門家加わりグループカウンセリングしていることは、良いことだ。ぜひそういう体制づくりに努めたい。

【問】発達障害を早く手当すれば、将来社会生活において支障がないところまで改善できる。アンケートなどによる早期発見は有効でないかと思うがどうか。

【答】先進地を参考にアンケートを作成し、実施したい。

【問】県内の児童精神科医などの専門家が不足しており、県へ改善を求めているがどうか。

【答】県内でも資格者が本当に少ない。機会をとらえて、県へ要望したい。

*その他、次の質問がありました。「住宅リフォーム助成」、「美術館問題もタウンミーティングで」について

一般質問

◎ 質問者 吉田 康弘 議員

【問】教育委員構成の多様化や保護者の参加を図り「レイマンコントロール」を充実させるため、教育委員定数を1名増やせばどうか。

【答】市条例の制定が必要のため、委員数の適正規模等の問題を含め、今後の課題として研究したい。

【問】平成23年度から新しい学習指導要領が施行されており、教科書がB版からA版へと大きくなった。これに合わせて生徒の机も新しい基準の机に整備していくべきでないか。

【答】以前に各学校で試験的にA版の机を導入した経緯がある。この試行結果を含めて、小・中学校長会とも協議した結果、当分の間は現在の机をリニューアルして使用していくことにしている。

【問】小矢部市次世代育成支援行動計画の中で、「子育て支援塾」、「子育てサークルサポート事業」が廃止されたのはなぜか。また、教育及び療育に特別のニーズがある子どもへの教育支援についての対応を伺う。

【答】「子育て支援塾」は一定の効果が得られたため、廃止した。「子育てサークルサポート事業」はニーズがないため、廃止した。

教育的支援は、相談事業として「ここに相談会」を砺波地区の3市を対象に、延べ18回開催し、保健福祉、教育の各分野の専門家と相談に応じるとともに、障害のある子の巡回就学相談を2回実施するなど、支援に努めている。

【問】市職員の構想力、交渉力を高める研修として、中央省庁や県の東京事務所、また民間企業への出向制度の導入を検討してはどうか。

【答】市役所と異なる環境の中で、職員の意識改革を進め、職務遂行能力を向上させる上で有効な方策と認識しているが、長期派遣の場合には新たな採用が必要となる。本市では、短期間の多種多様な研修を実施し、職員個人が向上心や問題意識を持って自己啓発に取り組みむことで、職場全体の意識啓発と能力向上を図っていく。

【問】当市の子育て支援、定住促進、教育環境や健康寿命を延ばす取り組みは、全国的に見て非常に優れており、「日本一の子育て支援都市小矢部」を発信してはどうか。

【答】子育て支援に関する施策の全国的な位置づけを整理するとともに、定住促進、子育て支援の効果的な対策をパッケージとして全庁的に検討したい。

インターネットで
本会議を録画中継
開始!

本会議はケーブルテレビに加え、新たにインターネットでも視聴できます。

本会議をより多くの市民の方に視聴いただけるよう、7月からインターネットを使い、小矢部市議会のホームページで公開していきます。

インターネットでは本会議の録画中継のみです。現在、6月定例会の本会議を配信しています。今後の録画中継は本会議を開催した日の1週間後に配信する予定です。生中継はケーブルテレビをご覧ください。

議会の傍聴
ご存じですか?

小矢部市議会の会議を傍聴できます。傍聴できる会議には本会議と委員会があります。それぞれ傍聴の手続きが違い、委員会の場合には受付時間に制限がありますので時間を確認のうえ、お越しください。

受付場所 議会事務局
(市役所3階)

本会議

開会中はいつでも傍聴できます。会議の当日、傍聴券の交付を受け、住所、氏名、年齢を記入してください。先着順で、傍聴席は55席用意しています。

委員会

当日の開議時刻の1時間前から30分前までの間に申込書に住所、氏名を記入してください。先着順で座席の都合上5人までです。

※電話、口頭による申し込みは認められません。

※ハンコは不要です。

※撮影、録音等はできません。

テレビで
本会議を視聴!

ケーブルテレビで本会議を生放送しています。再放送は当日の午後7時と、その週の土曜日午後6時からです。

また、3月には予算特別委員会を生放送しています。後日、再放送をします。

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

総務常任委員会

一点目は、一日も早く地域防災計画を見直し、市民の安全・安心への体制を築くこと。これにあたっては、本市の備蓄品が災害時、速やかに避難所等へ配付されるなど、組織体制を整え、早急に必要とされる防災士及び自主防災アドバイザーの拡充に努め、市民のネットワークを活かした組織作りを推進し、自助・共助・公助一体となる、安全・安心な小矢部市を構築すること。

二点目は、本市が行う全ての契約に対し、市民から不審を招くことがないように、特に、入札にあたっては公正に事業者が参入できるように、今後も倫理観を持って事務執行に努めること。

三点目は、市長はこれまで、広域事業を通して、自治体間の連携を深

め、効率的な事業推進に努められた。この広域事業がさらなる小矢部市民の幸せ、そして、市政発展につながるよう確実に推し進めていただきたい。

産業建設常任委員会

一点目は、小矢部三大祭りや三大イベントなどに参加された観光客や世話方の声・意見をしっかりと収集し、分析・総括をして、これからの祭りの運営に役立てること。

二点目は、近年、増加しつつある耕作放棄地において国土保全や水源涵養などの観点から土地の有効利用を図るよう努めること。

三点目は、小矢部市に、より一層の集客・地域活性化のための道路整備の推進を進めること。具体的には、主要幹線である主要地方道砺波小矢部線や福光福岡線などの拡幅改良、近年交通量が増加している一般国道八号の俱利伽羅トンネル設置及び四車線化の更なる要望に努めること。

民生文教常任委員会

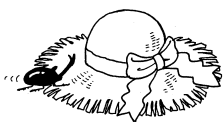
一点目は、石動東部保育所及び埴生保育所の調理業務が委託されるが、保育所の食事は、保育所・園児の健全な発育および健康の維持・増進の基盤であるとともに情緒的機能や食事を大切にする考え方を伝えるなどの教育的機能があり、その役割はきわめて大きく、保育所の運営管理上極めて重要であるため、各保育所の状況に応じた体制作りの充実に取り組むこと。

二点目は、次代の担い手である子どもたちを安心して生み育てることは、市民共通の願いであり、将来の本市のあり方にかかわる重要な課題である。出生数の減少が顕著に進行する本市では、子どもの健全な育成への影響、地域社会の活力の低下など様々な影響が及ぶことが懸念される。定住促進を含む子育て支援策の全庁的な検討を開始するための検討チームを立ち上げたとの報告があったが、小矢部市の現行水準を速やかに把握分析し、日本一の子育て支援

都市小矢部に向けて改善できる点についての検討を開始すること。また、取り組み可能な施策については、直ちに実施に移していくこと。

三点目は、本市ではこれまで、アテネ、北京オリンピックにホッケー選手を輩出するなど「ホッケーの街小矢部」の確固たる地位を築いてきており、小矢部市子ども達にも夢と希望を与えている。このたび本市出身の村上藍さんがロンドンオリンピックホッケー女子代表に選出されたことは、大変名誉なことであり、ご活躍を期待したい。

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠なものである。こうしたスポーツ振興をめぐる諸課題に対し体系的・計画的に取り組むこと。



行財政改革特別委員会
(最終報告)

第一に、行財政改革により生み出される効果額については、長引く景気の低迷や少子・高齢化の進行、人口の減少などから、税収等歳入の落ち込みが続く中、平成十七年度から二十六年までの十年間で百五十億円の目標に対し、平成二十二年までで八十一億三千三百万円、約五十五パーセントの達成率となっている。

今後も、百五十億円の行財政改革の目標額に向け、確実に実施していくことが必要となるが、災害対策や社会資本の整備等により、市民が安全で安心して生活ができるよう緊急度、重要度を十分考慮し、均衡の取れた投資的経費の投入に努めるよう要望する。

第二に、職員数の適正化を図るための定員管理計画については、消防組織の広域化に伴い、消防職員三十八名が削減され、平成二十六年目標の二百五十名に対し、あと二名の削減で目標が達成となる状況で

ある。しかし、急激な人員削減により市民サービスの低下を招くことなく、また、職員に過度の負担がかからぬよう適正な人員配置と、効率的な行政運営に努めるよう配慮すること。

第三に、市税滞納額の削減は、安定した市財政の運営を図り、税の公平・公正を確保していくうえで極めて重要なことであり、今年度より税務課内に滞納徴収班が設置されたことは、大きな前進である。滞納管理システムの導入や職員の専門的研修会の参加により、充実した徴収体制の構築を目指すとともに徴収率が向上するよう努力すること。

以上、今後における改革の実効性を確保するため、常に行財政改革の進行状況を検証することが大切であり、実施状況の公表や行政評価の推進により、改革に対する意見等を広く求めることが重要であることを申し添えて、行財政改革特別委員会の最終報告とする。



平成24年度 議長交際費支出状況

平成24年4月～平成24年5月分 (単位:円)

区分	件数	金額
1 慶弔・見舞費	1	20,000
① 御祝・寸志		
② 餞 別	1	20,000
③ 香典・供物		
2 協 賛 費	2	6,860
3 会費・懇談会費	2	20,000
4 そ の 他	1	1,740
合 計	6	48,600
平成24年度予算額		1,400,000
執行率		3.47%

※小矢部市ホームページからもご覧になれます。

陳情の処理状況

次のとおり、陳情の処理を行いました。

受理番号	陳情第2号
(件名) (陳情者)	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情 (全日本年金者組合)
審査結果	富山県本部執行委員長 米谷寛治 不採択

市外からの行政視察 (1件 5人)

年月日	視察者	視察項目	人数
24年5月29日～30日	山形県酒田市議会真政会 (会派)	小矢部川サービスエリアについて 高齢者地域支援事業について 定住促進事業について	5人

9月定例会の日程

大字はCATV・インターネット録画配信の放送予定

- 5日(水) 10時 本会議
- 7日(金) 10時 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 10日(月) 議案調査日
- 11日(火) 議案調査日
- 12日(水) 議案調査日
- 13日(木) 9時 議会運営委員会 10時 本会議代表・一般質問
- 14日(金) 10時 本会議(一般質問)
- 18日(火) 14時 民生文教常任委員会
- 19日(水) 10時 まちづくり特別委員会 14時 産業建設常任委員会
- 20日(木) 10時 総務常任委員会 14時 決算特別委員会
- 21日(金) 14時 委員長会議
- 24日(月) 10時 議会運営委員会 13時 全員協議会 15時 本会議(質疑・討論・表決)

■ 会務報告

平成 24 年 3 月 24 日から平成 24 年 6 月 7 日まで

年月日	件名	摘要	開催地
24. 3.27	高岡地区広域圏事務組合議会 議員協議会・定例会	・平成 24 年度一般会計予算・分担金 ・平成 23 年度補正予算・分担金	高岡市
3.28	第 87 回北信越市議会議長会監事会	・平成 23 年度北信越市議会議長会会計及び慶弔基金会計決算監査	長野市
4. 4	富山県日台友好議員連盟拡大設立総会	・平成 23 年度事業報告及び収支決算 ・規約の改正及び役員改選について ・平成 24 年度事業計画及び収支予算	富山市
4.10	富山県日韓友好議員連盟総会	・平成 23 年度事業報告及び収支決算 ・平成 24 年度事業計画及び収支予算 ・役員を選任及び顧問の委嘱について	富山市
4.11～13	議会運営委員会行政視察	・議会改革の取り組み状況について	大分県大分市 福岡県田川市
4.17	総務常任委員会行政視察	・富山県広域消防防災センター 防災研修及び災害体験研修	富山市
4.18	議会運営委員会	・4 月小矢部市議会臨時会、議案第 23 号、承認第 3 号、承認第 4 号 について審議	第二委員会室
4.25	全員協議会	・4 月小矢部市議会臨時会提出議案について ・行政委員会等の会務報告 ・暴風被害他 6 件について報告	第一委員会室
	議会運営委員会	・4 月小矢部市議会臨時会、議案第 23 号、承認第 3 号、承認第 4 号 について発言通告及び採決方法について審議	第二委員会室
	本会議（4 月小矢部市議会臨時会）	・議案第 23 号、承認第 3 号、承認第 4 号について審議	議場
	議会だより編集委員会	・第 165 号発刊について	第二委員会室
4.26	第 87 回北信越市議会議長会評議員会・ 総会	・平成 23 年度会務報告 ・平成 23 年度会計歳入歳出決算及び慶弔基金会計歳入歳出決算報告 ・平成 24 年度会計歳入歳出予算及び慶弔基金会計歳入歳出予算 ・各県市議会議長会提出議案	金沢市
5. 1	砺波地域消防組合全員協議会	・高岡市、氷見市、砺波地域消防組合消防通信共同運用に係る基本的 事項の合意調印他 5 件について報告 ・高岡市消防本部高機能消防指令センター研修視察	砺波市 高岡市
	産業建設常任委員会行政視察	・小樽駅前再開発事業及び小樽公園整備事業について ・JR 東室蘭駅及び周辺整備都市計画事業について ・北海道新幹線新函館駅周辺整備に係る都市計画事業について	北海道小樽市 // 室蘭市 // 北斗市
5.10	民生文教常任委員会	・「おやべの縁結びさん」の募集及び養成講座の開催他 3 件について報告	第二委員会室
	総務常任委員会	・備蓄品の管理状況施設調査 2 箇所 ・夏の節電対策の実施について報告	市内 第二委員会室
5.11	まちづくり特別委員会	・石動駅南土地地区画整理事業他現地調査 2 箇所	市内 第二委員会室
5.14	産業建設常任委員会	・市営住宅家賃長期滞納者に対する債権回収状況について報告	第二委員会室
5.14～16	民生文教常任委員会行政視察	・英語教育について ・縁結び事業・定住支援策について ・発達障がい児等相談支援事業について	兵庫県三田市 // 南あわじ市 香川県丸亀市
5.21～23	総務常任委員会行政視察	・定住自立圏及び災害応援協定について ・島根県原子力防災センター防災研修 ・原発安全協定及び防災行政無線配信について	鳥取県米子市 // 倉吉市 島根県松江市 鳥取県境港市
5.22	県選出国会議員との懇談会	・各市議会要望要旨説明	東京都
5.23	第 88 回全国市議会議長会総会	・報告（一般事務及び会計等） ・議案審議（部会及び会長提出議案）	東京都
5.25	天皇陛下下拝謁		東京都
5.29	全員協議会	・行政委員会等の会務報告 ・富山県並行在来線対策協議会他 3 件について報告	第一委員会室
5.29～6. 1	日韓友好議員連盟韓国訪問	・江原道庁、江原道議会 ・在大韓民国日本国大使館 ・韓日親善協会中央会等	韓国ソウル等
5.30	議会運営委員会	・平成 24 年 6 月小矢部市議会定例会提出議案等について	第二委員会室
6. 5	北陸新幹線建設促進大会・同盟会総会	・建設促進大会（経過報告・決議） ・建設促進同盟会総会（事業報告・収支決算・事業計画・収支予算）	東京都

編集後記

このたび、大谷勇氏に
名誉市民の称号を贈呈す
ることとなりました。

今さら申し上げるま
でもなく、大谷勇氏には、
本市発展のため多大なる
功労を賜っており、その偉
大な功績は、とりもな
おさず当地の自治進展の
歴史であるといっても過言
ではありません。

さらに、小矢部市を
広く社会に高揚され、常に
貫して郷土を愛され、ひた
むきに情熱を傾けられま
したことにつきまして、心
から敬意を表します。

市議会では、大谷勇氏
のこれまでの功績と郷
土を愛する尊い精神を
広く長く引き継ぐととも
に、その厚志に報いること
ができますよう、今後とも
格段の努力をいたします
ので、市民各位のご支援
とご協力をよろしく願
います。

次回の「議会だより」は、
平成 24 年 11 月の予定です。
（議会だより編集委員一同）